

みんなで語る会報告書

- 開催日時 : 平成28年11月18日(金)(19時00分~20時30分)
- 開催場所 : 今和泉校区公民館
- 参加者数 : 【市民】20人、【市職員】市長ほか7人、【総計】28人

○ 会次第

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 地方創生について
- 4 意見交換
- 5 地域代表あいさつ
- 6 閉会

○ 意見交換の内容

【市民】

若者が積極的に農業に取り組める環境づくりは、どのようにしたらよいか。

また、地熱について新聞や議会だよりに掲載されていたが、もう少しわかりやすく説明してもらえないだろうか。凍結の意味についても教えてもらいたい。

<市長>

農業は大変である。この前の台風や雪のように、様々な自然条件に左右される。そうならないようにどうすればよいか。例えば地熱を利用したビニールハウスを造り、天候に左右されない農業をしようというのが地熱の発想の一つであった。

地熱発電ばかりがクローズアップされたが、手段であり目的ではなかった。農業や観光にも生かそうとすると、山川では漁業にも生かせないかという話もあった。温泉の枯渇や様々な課題があるということで、議会や温泉関係者を含めいろいろと賛否両論であった。このまま突き進むと今後に禍根を残すだろうということで、一応凍結という形にした。温泉資源は温泉関係者やホテルだけのものではないという考え方もあった。地域の財産、一人ひとりの財産として、指宿市民の恵みとして活用して、地熱の益金を基金として積み立てて福祉・教育・地域づくりなどに役立てようという考え方であった。

しかし、考え方によっていろいろあることも理解できる。反対している方々へも、十分説明しなければならぬ。市としては十分説明したつもりであったが、なかなか理解をいただけなかった。そこで今回、凍結という措置を取った。地方創生という流れの中で、指宿がこのような事業をすると創生事業のモデルとして高く評価されるであろうということで、国が100%お金を出してくれる事業であった。それを観光に生かす場合にも、市の税金でということは全く考えていない。やろうとする方はどうぞという事業であった。皆さんの意見を謙虚に聴きながら、どういう方向性に持って行くかは今後のことであろう。凍結であるので、溶けることもあるかもしれない。

農業生産額も相当変わってきた。観葉植物等も温泉を利用しているが、一時期は60~70億あったが今は14~15億である。全国的に有名であったがそうってきている。農業も、このままではいけないと思っている。オクラを例にとると、盆の時期に出ないものを漬物にする。それだけでなくパウダー等にして、化粧品に使えないか、粉を売れないかといった実験を大学と一緒にしている。その中で、医学的に非常に優れた効果があるということが証明されつつある。売れないオクラを集め、加工して売れる可能性が非常に高くなった。それが六次産業化であり、作って売るだけでなく、加工して儲かろうという地方創生の一つの流れでもある。水産加工も、かつおが入らず

大変である。いいときは115億ぐらいあったのが、今は100億ちょっとである。

いろいろな面で落ち込んでいる。落ち込んでいるということは、市税が減るということである。市の税金が一番多かった頃は50億近くあったが、今は40億を切る。税金や生産額、人口などいろいろなものが減る中、指宿に住んで子育てをしたいと思うかどうか。最も大変なことは、子ども、お年寄りも減るということである。魅力ある産業をつくり、安心して子育てができる地域をつくろうというのが地方創生である。皆さんの考えを聞かせていただきたい。

【市民】

現在運転中の山川地熱発電所と指宿市の関係はどのようになっているのか。

<政策推進係長>

ヘルシーランドに掘削する井戸から出た蒸気について、昨年4月に発電事業者を全国に公募したところ5社の応募があり、その中の九州電力とセイカスポーツセンターの共同体の下で技術的な支援等を受けながら、国の助成金の申請や地下の調査の際にも助言をもらった。井戸から出た蒸気を市が売った売電収入の一部を基金に積んで、福祉や地域の課題解決の支援等に使えないかと考えていた。また、地熱発電で生じた熱水を観光や農業に活用できないかというのが地熱の恵み活用プロジェクトの一つであった。

<市長>

今の九電の地熱発電所も20年近くしているが、具体的な温泉への影響はなかった。あそこは、九電が自分たちで掘ってしており、市には税金と償却資産を含めた固定資産税等が入ってくることになる。

【市民】

指宿商業高校では、外国語で中国語や韓国語を習っている。砂むし温泉で外国人旅行者から質問を受けたが、言葉が分からずに困った。外国語を話せる方がいれば、観光にも役立つと思う。

<市長>

指宿商業にも観光科をつくったらどうかと議会でも話題になった。今、外国人観光客は1万人から8万人とどんどん増えている。恐らく大河ドラマ「西郷どん」が始まると、さらにすごいと思う。中国、台湾、イスラム圏の方々は宗教上、裸にならない。欧米の方々の多くは、ファッションで刺青をしている。しかし、日本の温泉は刺青禁止になっている。また、日本人は刺青を見ると怖がる。これは、温泉文化や宗教上の違いである。今後、日本人観光客は減り、外国人観光客が増えてくることに対応するためにはどのような観光施設を造らなければならないかということで、日本人も外国人も水着で入れるような場所をと考えた。

指宿商業高校では議会の意見等もあり、今から5～6年ぐらい前から韓国語・中国語の学習をしている。

<指宿商業高校校長>

1年時に韓国語か中国語かを選択をして、そのまま3年まで続けて学ぶ。

<市長>

指宿商業で学んで簡単なあいさつができるような人は、どんどん市内で就職してほしい。市役所の職員にも、そういうことができる人だったら優先して採用したい。今回の市役所の採用試験でも、外部の方の評価では商業高校の生徒が一番良かったと言っていた。それは、指宿市立の高校として地域の方が盛り上げてくれ、中国語・韓国語も学びありがたいことである。外国語ができる生徒を、ホテルなどいろいろな所に就職できるような取組をしてみたい。

シーサイドホテル等は台湾で面接をして、向こうの学生を5人連れて来た。こころの宿でも中国人を、ほかのホテル等も台湾などから連れて来ている。指宿市役所にも、台湾の大学院生を1人入れた。帰国したら指宿を宣伝してくれ、友だちも遊びに来てくれる。外国人に対応できるような取組をしているところなので、いいアイデアがあったら教えてもらいたい。

【市民】

砂むし温泉に入ったことがない子どもたちが多い。これでは、子どもたちが市外に出ていったと

きに、砂むし温泉の紹介をできるはずがない。子どもたちに砂むし温泉を体験してもらえるような事業できれば、指宿の宣伝マンが育つのではないかと思う。

<教育長>

教育委員会としても、「指宿まるごと博物館構想」の中で指宿のいろいろなものを体験してもらいたいと願っている。子ども会やPTAの活動、学校の総合的な学習の時間など、いろいろな組合せをすれば可能なのかもしれない。入浴料については相談できればいいと思う。

<市長>

ぜひ、取り組んでみたい。お金がたくさんかかるわけでもなく、無料でも構わない。砂むし温泉の良さは、実際に入った人でないとわからない。同じように、指宿のホテルに泊まったことがないから、いいと言うことができない。

ここ4～5年で、国民健康保険に税金から15億円を繰入れしている。もしそれがなければ、道路や学校を良くしたりといろいろなことができる。だから、健幸のまちづくりということで、健康で長生きになると様々な事業ができる。指宿の国民健康保険は、一人当たり40何万円支払っている。県内で少ない西之表市は30万円ぐらいである。そこで、健幸なまちづくりを目指している。

【市民】

観光客の宿泊者数の推移を見れば、年々減少している。現在、宿泊をする方々の年齢層はどのようになっているのか。また、香港や30歳代の女性の観光客を増やすために、今後何をしていくのか。ホテル・旅館業界の方々に、なぜ指宿に宿泊したのか調査してもらってはどうか。今後、オリンピックに向けて外国の方々が4,000万人ぐらい来ると聞いている。中国・韓国・台湾・香港といった方々を呼び寄せる魅力は何なのか、市や観光業界の方々、または市民にも募り対策を練ってもらいたい。

それと、20年後の指宿市はどんなまちになってもらいたいかといった作文を子どもたちから募集するなど、子どもたちの意見を反映していくことが、今後の指宿市の一助になるのではないだろうか。

<健康福祉部長>

北陸新幹線の開通や北海道新幹線のこともあり、一時、指宿への観光客が大幅に落ち込んだ経緯がある。指宿の観光客の年齢や女子の割合がどのようになっているかと言うと、以前の観光は、大型バスで来てどんちゃん騒ぎをして、物見遊山的なものであった。今の観光のスタイルは、全国的に個人であり女性の団体が多くなってきている。現在、外国人観光客も非常に増えている。海外の方に指宿に来てもらうためには、フェイスブックやインターネット、ツイッターを活用した情報発信に観光課としても取り組んでいる。

ただ、どこから来た、どのような年齢層、観光の消費額がどうなっているかなど、具体的に分析をし切れていない面がある。観光協会と行政が一緒になって、具体的な分析をしていく必要があると感じている。

<市長>

暦によっても違う。三連休の多い年は、30～40代の大阪・名古屋・東京方面からの女性が多く、男性は極めて少ない。三連休が少ない年は、福岡や大阪からの30～40代のグループの女性が多い。男性の若い方はお金を持っていないが、女性は持っているのでターゲットにしようとしている。

観光戦略は、ただ単にいろんな所でPRするだけでは駄目である。三日連休が多ければ家族旅行も増える。どこをターゲットにして、どんな戦略を練るかということを考えなければならない。男性は車で来て温泉に入っても、安くで泊まれるので鹿児島中央駅付近に泊まる。指宿のホテル経営は、お金が高すぎて今の時代に合っていない。しかも、働き手が離れて仲居がいなくなると、宴会もできなくなる。これからは、1泊朝食付きで1万円以内になければ、全て鹿児島中央駅周辺に泊まるかもしれない。

外国人観光客は帰らずに泊まってくれるが、魅力ある温泉、自由に入れる温泉などがないと指宿に来なくなる。どこにターゲットをおいて、どのような戦略を練るかというのはだいたい方向性はわかっており、今が正念場である。

それと、子どもたちの夢は聞く必要があると思う。小学校のときにこういう夢があって、こうな

ったというのはある。夢を聞いて生かす場は必要だと思う。社会教育課で中学生を対象に、僕の夢私の夢作文コンクールを行っている。それを読むと、子どもたちの感性は非常に豊かである。そこを行政としても生かすべきだろう。ぜひ、例えば半成人式の子どもたちに作文をするといった取組など、学校関係者と協議しながら進めていきたい。

外国人観光客は、来年度には 10 万人を突破するだろう。外国人が指宿で楽しめる場所にするためにどうするかというのが一番の大きな課題である。外国人が観光地をインターネットで調べることができるよう、Wi-Fi のスポットもつくろうとしている。外国人観光客も安心して楽しめるまちをつくりたい。大きな観光のうねりに対応できるよう、地方創生の中で頑張っていかなければならない。

【市民】

指宿市では、企業誘致をするような施策はないのか。

<市長>

議会でも何度も指摘されたが、大企業を誘致するつもりはない。その理由は、大きな工場が 20 年続いた所はない。引き上げて海外に工場を持って行き、産業の空洞化になっている。出水市ではパイオニアやNECがなくなり約 2,000 人が職を失った。根付いてくれればいいが、そのようなことが起こると目も当てられない。また、指宿は高速道路も遠く立地条件が悪い。地元の産業で収益力のあるものを作っていきたい。それが農業の六次産業化である。

<総務部参与>

最近では、山川に極洋水産というかつお加工品を製造する会社が工場を造り、20 名ほどの職員の採用もあった。また、平成 27 年にはオジマモールドや、平成 23 年にシュウエイという地元企業が会社を大きくしたりということもあった。以前、企業誘致をした跡地についても情報発信をして、県の企業誘致課等にも物件について周知をしている。以前は、土地開発公社が幸屋にも工業団地を造成をして企業誘致を図っていた。

<市長>

極洋は山川のかつお産業と結びついており、現在は海外にも出そうとしている。シュウエイもすり身である。指宿の産業と密接な関係にある企業に来ていただくと、ある程度は続く見通しができる。地元に着定できるような企業誘致を考えている。

【市民】

校区公民館前の道路補修工事を 2 年ほど前にしてもらったが、雨の日には未だに水がたまり、車が通ると生徒たちに水がかかってしまう状態が続いている。早急に対応してもらいたい。

<市長>

今和泉のこの地域は、歩道を広げて道路の工事をしなければならないと思う。歩道が狭く、集団登校のときに車でも突っ込むと大変である。知事も指宿出身なので、ここの国道 226 号線はしっかりとと言っている。今度、国土交通省にも行く。また、鹿児島商工会議所の岩崎会頭も、ここの道路を何とかしようと言ってくれている。どうしても、ここの道路は対応したい。公民館や指宿商業、今和泉のPTAでも陳情を出してもらえると、市としても事業として要望しやすい。

【市民】

30 年前とすると、小・中学生が 40% しかいない状況で、今和泉小学校は 1 学年 20 人以内である。今和泉・小牧・新西を入れたときに、若者が残っていない。地方創生で地元の企業、就職先をいかに作っていくかが大切だと思う。

<市長>

やはり、これはみんなで考えていく問題だろう。学校の問題もある。私が一番学校関係で危惧しているのは中学校のことで、西指宿中学校の野球部は他の学校と一緒に大会へ出場している。教科担任もそろわず、例えば体育の先生が社会も教え、家庭科の先生が国語も教えるといったような状態になってしまう。特に、数学・英語など主要教科の先生がそろわないとなると大変なことである。以前は今和泉中や池田中もあったが、統合されてなくなった。今後、中学校の統合となった場合、

皆さんはどう思いますか。するとすれば、北指宿中しかないと思う。すぐにするというわけではないが、大きな課題である。ぜひ、地域で考えてもらいたい。

【市民】

雨が降るとJRがすぐに停まり心配する。雨が降っても帰ることができるようになればと思う。

また、空き家も草がかなりはえたもの、崩れそうなものなどいろいろある。何とかならないもんか。

最後に、納骨堂が増え、地区墓地には墓石を倒したままのものが多く見られる。何とか、更地にするいい方法がないものか。

<市長>

国道の近くにも、空き家が多くある。みんなの力で、何とかできないものかと本当に思う。空き家対策は議会等でも問題になっているので、墓地対策も含めて具体的に早く動かないといけないと思っている。

【市民】

昨年の市長との語る会で今和泉校区公民館のトイレの問題が出されたが、きれいな水洗トイレになった。いろいろと出された住民からの要望を、一つでも解決してもらえたことに感謝している。

今和泉海岸に、よく流木が打ち上がる。市の職員も来て処理をしてもらっているが、観光地でもあるので気にかけていてもらいたい。

<市長>

今和泉小学校の「喜んで登校、満足して下校」、そのような学校はすばらしい。今和泉の地域のよさは私も感じている。いろいろな意見は、市議会議員や公民館長をとおして聞かせてもらえるとありがたい。

大河ドラマも、あと1年1か月後には始まる。また篤姫を兼ねて、観光客が来ることが予想される。そのためにどうしなければならないのか、来年度は早めにいろいろな事業に着工しなければならないと思う。